全15回シリーズ

未来への地図

㈱ハルシステム設計
経営情報・システムコンサルタント　佐藤　士朗

原価管理ができない理由②

原価管理⑪

現場の意思決定支援としての取組み

損益管理の考え方から

現場の利益管理を行うために導入した原価管理システムに振り回されてしまっているという現象は、この目でずいぶんと見てきました。運用指導という事での訪問なのですが、実質的には原価管理者の損益管理に対する考え方、手法の基礎教育になってしまうことが多いのです。つまり、導入する側はシステムを利用することにより自分の仕事（実行予算作成・日報処理など）が簡単になるという意識だったのでしょうが、日報処理にいくまでがとてつもなく細かく大変な作業だった、ということにシステムを目の前にしてはじめて気づくのです。

また、これまで自己流で行ってきた予算管理もパッケージの考えに基づいて行わなければならないということで、慣れるまでの試行錯誤も関係しているようです。以下よくあるパターンをまとめてみると、一番戸惑うのは便利さというところです。通常ソフトというものは、使う人が楽になる自動化・簡易化という部分を提供するものですが、パッケージソフトでは逆に細かい作業が発生します。ところがそれがシステムを運用する上でとても重要性を持ったものになってくるため、便利という言葉からかけ離れた印象を持ってしまうのです。

また機能面では、たとえば実行予算の積上げ（自社歩掛の構築）、工程管理、日報入力などですが、どれがかけても求めるもの（利益の追求、生産性の向上のための指標）は出てきません。これらは、これまでの頭の中にあるあるいは体に染み付いている経験というものをシステムに伝える作業になってきます。しかし、これを行わなければシステム化する意義（情報の共有：データベース化）にならないのです。同時に、現場を損益という方向から見るための仕組みを理解する必要があります。特にここで気をつけなければならないことは、現場管理というシステム機能の不一致がよくあるということです。

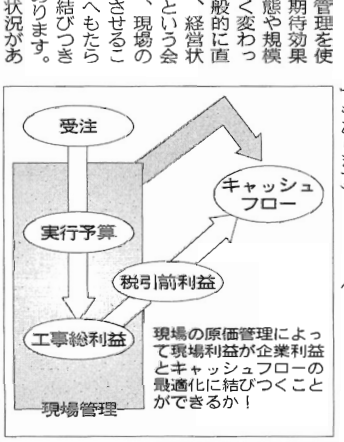
そして、現場主体の原価管理は記録ではなく意思決定支援のための道具だということを認識する必要があります。請負金額に対して積上げた予算はどうなるか、工事総利益が思ったより少ない場合は歩掛をどう考えるか、日々の出来高に対して原価がかかりすぎている、このまま行くと赤字になる、となる場合は出来高をがんばるとかです。目標（予算、工程）を実現するための指標を原価管理というシステムから導き出し、羅針盤として活用していくことです。

ソフトの処理がどのように行われているかをじっくり見て考えることによって、その機能の持つ意味が理解できてくると思います。期待効果が高いシステムほど、運用の難しいソフトだということが考えられます。

結局このようなシステムの導入効果は、現場代理人の能力に比例してくるのです。ここで言う能力とは施工がうまいとか、数字に強いとか言うことではなくどれだけ素直にシステムを理解し、使うことができるかという「素直さ」をいいます。経験が豊富で実績を持ち、自分のやり方にすごい自信をもっている方のほうが逆に使わないか、自分の考えと同じと判断すれば使いなすかのどちらかになると思います。

また、原価管理を使うことによる期待効果については業態や規模によって大きく変わってきます。一般的に直営型、小規模、経営状況がまだよいという会社にとっては、現場の生産性を向上させることにより会社へもたらす利益効果に結びつきやすい面があります。これが、経営状況があまりよくない会社だとすると現場の生産性の向上という視点ではなく、会社のキャッシュフローという視点からの考えなければなりません。現場は利益を創出することによって会社の利益には結びつくかもしれませんが、その利益は会計上の利益でしかなく、キャッシュ（お金）というところには直結しないということです（ここの問題はとてつもなく大きいのですが、これまで見過ごされてきたところでもあります）。

システムの導入には費用がかかります。自社の経営状況、現場の損益という面での管理状況、現場管理者の意識、これらを含めて現場の損益管理を追及していくべきか、その場合の効果はどうなのかを、よく検討して取り組まなくてはなりません。効果を求めるのであればそれなりの取り組みが必要です。少なくとも便利になりそうだからという意識では導入を再検討した方が賢明かもしれません。



統合河川整備の対象

「堤防の質的整備」追加

国交省

国土交通省は17年度、補助河川事業の一つである統合河川整備事業の対象に「堤防の質的整備」を追加し、都道府県が管理する中・小河川の堤防強化対策を促進する方針だ。補助対象河川では、国交省が16年度内策定するガイドラインに基づいて点検・改良工事を進める。

国直轄河川堤防については、16年度から強化対策を実施しているが、全国の約9割の延長を占める都道府県管理河川については、「国庫補助の対象外」となっている。このため、17年度から統合河川整備事業を拡充（事業対象に都道府県が管理する中・小河川堤防の質的整備を追加し、計画的な改良工事を進めている河川に限らず、緊急・機動的に実施する必要がある河川堤防の強化を促進する。

▽堤防の質的整備とは、▽表面を土で覆う遮水シートなどで覆い河川水や降雨の浸透・浸食を防止▽堤防の断面を拡大し浸透水による破壊を防止▽堤体内に浸透した水を排除するドレーンを設置―など。

統合河川整備事業は、都道府県が管理する1級河川指定区間や2級河川のうち、流域面積が100㎢平方㎞未満、想定氾濫区域内人口が1万人未満の河川改良工事などで、1事業の総事業費が50億円未満のものを対象に総合的な補助金を交付する。

住宅金融公庫

融資金利0.2%引下げ

住宅金融公庫は、マイホーム新築・建売住宅購入等融資金利を1・75平方㎞以下基準金利適用住宅（当初10年間）で現行の3・00%から2・80%に改定、適用期間は9月14日から10月15日まで。また、1・75平方㎞以下同以外（同）は2・90%、1・75平方㎞超（同）は3・35%。災害復興住宅は1・80%、特別加算（同）は3・65%にそれぞれ引き下げた。

県電設協会

あす、奉仕作業

県電設協会（山ノ内文昭会長）は15日午前9時から、県内6地区の社会福祉施設等で照明器具の点検や清掃などのボランティア活動を実施する。

挨拶

礎

～いしずえ～　10

いまさら「あいさつ」でもないが、比較的ほとんどよく行くうどんやは面白い。勘定が終わると『おきをつけて』と声をかけてくれる。決して『ありがとうございました』とは言わないのである。そのやさしい心遣いが心地よい印象を与える。

（東京経済編）

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴昼過ぎから宵の内まで所一時雨	南東	10% 20%
大隅	晴所一時雨	南東	20% 30%
種子屋久	晴	南東	10% 10%
奄美	晴昼前から曇所一時雨	南東のち南	10% 10%

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
15	水	時々	20%	32°25°	時々	20%	31°25°
16	木	時々	20%	32°24°	時々	20%	31°25°
17	金	時々	20%	31°24°	時々	20%	31°25°
18	土	時々	20%	31°24°	時々	20%	30°24°
19	日	時々	20%	30°24°	時々	20%	30°24°

《概況》向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多い。最高気温・最低気温は、九州南部では平年より高い。

行政動静

9月14日（火）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事……在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……庁外
- 柴田副所長……在庁
- 赤星副所長……庁外

【川内川河川事務所】
- 所長……在庁

【大隅河川国道事務所】
- 所長……庁外

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……在庁

【志布志港湾事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……在庁

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。